



GHANA

# アクワバ ガーナ ～ガーナ 大好き～

長原 恵子

広島県呉市立広小学校

◆実践教科 総合6時間、図工6時間、音楽2時間、  
道徳1時間、学校行事1時間

◆時間数 16時間

◆対象学年 3年生3クラス ◆対象人数 全91名

## カリキュラム

### ■実践の目的

自分が最初に思い描いていた、あるいは、他の人たちが思い描いているであろうアフリカのマイナスイメージと、実際に見たアフリカ（ガーナ）のイメージはずいぶん違っていました。もちろん貧富の差はあり、厳しい環境の中で生活されていますが、思っていた以上に近代的でまた、人々のエネルギーに驚きました。そこで、「ガーナ大好き」の今の私の心を子どもたちに伝えることができるよう、授業を組み立てていきたい。

まず「ガーナ」の生活や文化を知ること、自分たちの生活との違いや似ているところに気づか

### ここが素晴らしい！

ケンテやビーズなどを自身の手で作ったり、ダンスをしたりして、子どもたちは「ガーナ大好き」というイメージが心に染み入ったと思う。また参観日や学習発表会を通して、家庭や地域にもその輪が広がりました。

せる。特にガーナの人々の優しさ、おおらかさを伝え、いろいろな生活環境を受け入れながら、一生懸命生きている人々に気づかせる。そして今後、自分たちがどのように生活していけばよいか、自分たちの生活を振り返り、自分たちにできることについて考えさせたい。

また、海外で活躍する日本人のことを知り、地球に住むひとりとして、いろいろな国々への興味・関心を高め、世界を知ろうと目を向けるようにさせたい。

### ■授業の構成

時限・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
1時限目 アフリカ（ガーナ）ってどんな国？	・アフリカ（ガーナ）と聞いて、イメージすることをグループごとに出し合う。 ・予想を立てて出し合ったことをカードに書いて、1枚の模造紙にまとめる。	
2時限目 ガーナ大好き パート1 ～チョコレートのひみつ～	・これから何ができるでしょう。 ・カカオ豆について、写真や話を通して知り、観察もする。 ・チョコレートも試食する。	・パワーポイント ・カカオ豆 ・チョコレート ・ワークシート
3時限目 ガーナ大好き パート2 ～ガーナの名前のつけ方～	・ガーナの国旗の意味について、予想を出し合い、知る。 ・ガーナ式曜日による名前のつけ方を知る。 ・自分の生まれた曜日を調べ、自分の名前をガーナ式に直して、ローマ字の書き方で書いてみる。	・ガーナの国旗 ・ガーナ式曜日による名前の付け方の表 ・エクセルで調べた自分の生まれた曜日の表
4時限目 ガーナ大好き パート3 ～クイズで考えよう～ ・何に使うのかな ・何をしているのかな	・3枚の写真を提示し、何に使われるのか、何をしているのかなど、予想を出し合う。 ・予想したことを発表し合う。 ・教師の話を通して、答えを知る。	・写真 ・ガーナのほうき、ちりとり ・ワークシート ・パワーポイント

時限・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
5・6時限目 ガーナ大好き パート4 ～ビーズで作ろう～	・ガーナのビーズ玉を少し使って、ストラップを作る。 ・できたものをお互いに見せ合い、感じたことを出し合う。	・ガーナのビーズ ・日本のビーズ
7時限目 ガーナ大好き パート5 ～ガーナの食べ物・お金～	・ガーナの食べ物について、写真を見ながら、教師の話聞く。 ・ガーナの紙幣を観察する。 ・気づいたことを出し合う。	・パワーポイント ・ワークシート ・ガーナ紙幣
8～11時限目 ガーナ大好き パート6 ～えんぴつ立てを作ろう～	・ガーナの写真をいろいろ見て、人々の服装、町や村、市場の様子などを知る。 ・えんぴつ立てを作り、ガーナの雰囲気ができるような模様の工夫をする。 ・できた作品に、自分の名前をガーナ式名前でつける。	・ガーナの写真 ・布切れ
12時限目 ガーナ大好き パート7 ～ケンテを作ろう～	・ガーナでの色の意味を知り、自分たちのもつイメージと比べる。 ・ケンテにこめられたガーナの人々の思いについて知る。 ・マイケンテを作り、みんなでつなげる。 ・感想を書く。	
13・14時限目 ガーナ大好き パート8、9 ～みんなで踊ろう～	・ガーナの楽器に触れて、楽器の材料や使い方について、考える。 ・ガーナの音楽に合わせて、みんなで踊りを楽しむ。	・楽器3種類 ・CD
15時限目 ガーナ大好き パート10 道徳（勤労・社会への奉仕）	武辺さんの話を通して、進んでみんなのためになることを考え、実行していこうとする態度を養う。	
16時限目 学習発表会 アクワバ ガーナ ～ガーナ大好き～	学習発表会で、ガーナのことを劇にして、みんなに伝える。	

## 授業の詳細

### 12時限目 ガーナ大好き パート7 ～ケンテを作ろう～

ねらい：ガーナのケンテの色使いを通して、ケンテにこめられたガーナの人々の願いを感じ、自分たちの思いのこもったケンテ柄の色作りをしよう。  
展開：

1. 自分のもつ色のイメージを思い浮かべ、ガーナでの色の意味を知り、比べる。
2. ガーナの民族衣装ケンテにこめられたガーナの人々の思いについて知る。
3. 本時のめあて“マイ ケンテを作ろう”を知る。  
・好きなケンテ柄を選ぶ。

- ・ガーナの色の意味を考えながら、自分の思いのこもった色をぬる。(ポスカ)
4. グループで1枚のケンテにつなぎ、さらに、クラスで1枚の大きなケンテにつなぐ。
  5. 今日の学習を振り返り、感想を書く。



## 児童の感想

- ・ケンテには、もようだけではなく、ねがいがこめられているのに、びっくりしました。色にねがいがあるのが、すごいと思います。わたしは青が好きなので、真ん中を青にしました。
- ・みんなで組み合わせるととてもきれいなケンテができて、びっくりしました。3年2組のみんなの思いが繋がったので、うれしいです。
- ・ガーナのケンテには、ガーナの人たちのいろんな思いがこめられているんだね。わたしは、強くなることと、やさしくなるように、ピンクと赤をたくさんぬったよ。
- ・色のいろんな意味が集まったケンテをみんなで作りました。ぼくは、いっしょうけんめい作りました。みんなの心のつまったケンテを作れてよかったです。心をひとつにすることができたみたいで、うれしいです。

## 所感

子どもたちは、とても純粋に色の意味を考え、ガーナの人たちのもつ色へのイメージと比べていた。ケンテにガーナの人々の願いがこめられていることを知り、どの子どもも、マイケンテを作るのに、本当に思いをこめながら、一つ一つの柄を一生懸命でいねいにぬっていた。そして、グループでひとつにするときは、あれこれ相談しながら、いちばんきれいに見えるつなぎ方を考え、決定していたようである。クラスで、一枚の大きなケンテにつなげたときは、本当に色鮮やかにきれいで、みんなびっくりしてとても嬉しそうであった。さっそく教室に掲示をした。

**15**  
時限目

## ガーナ大好き パート10 道徳（勤労・社会への奉仕）

ねらい：ガーナの武辺さんのパイナップル作りの話を通して、進んでみんなのためになることを考え、実行していこうとする態度を養う。（相手の立場に立つことの大切さを伝える。）

展開：

1. ガーナの風景写真を見て、土地の様子について知り、気づいたことを発表する。
2. ガーナに行くとしたら、何を持って行きたい

か必要だと思う物の一つだけ考え、カードに書く。書いた子から、黒板へもってきて、掲示する。（水・冷蔵庫・扇風機・・・など）

3. 持ってきた物が役立つかどうか、考える。
4. 困った状況で、自分たちならどうするか考える。
5. 村に残るとしたら、村人のために何ができるか考える。
6. 記念碑の写真を見て、何の写真か想像し、養鶏やパイナップル作りで成功し、学校などを建てた武辺さんのことを知る。（アチュア村のビデオ視聴）



7. 武辺さんのことをどう思うか考え、発表し合う。
8. 自分たちの生活を振り返って、みんなのために何ができるか考え、発表し合う。

○教室でできること

- ・作業の後の片付け
- ・自分の分担でないことも手伝う。
- ・うまくできない人がいたら、アドバイスしたり、助けたりする。

○世界にも目を向けてみよう

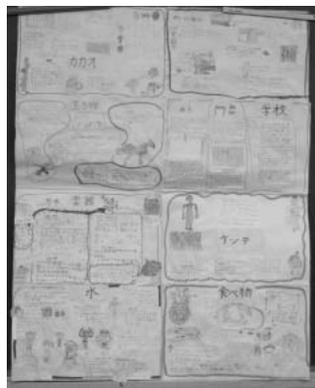
- ・みんなと同じように幸せになりたいと、いろんな状況の中でたくさんの人々が暮らしていること。真実に目を向けられるように。



## 児童の感想

- ・もう何年もたつのに、まだガーナの人たちがたけべさんのことを忘れずにいるのがすごい。とても感謝されている。自分も友だちと仲よく助け合いたいと思った。
- ・自分もたけべさんのように、世界のことを知って、大人になったら、人を助けることのできるような仕事をしたいと思う。
- ・今度から、もっと物を大切に、家の手伝いもがんばりたいと思う。
- ・ガーナや他の国に自分も行っ、他の人の役に立つことをしてみたい。そのためには、しっかり勉強をして、友だちとも仲よくやっていきたい。

も、国際理解教育・開発教育を続けていきたいと思います。



最後にガーナについて子どもたちがまとめたもの

## 所感

子どもたちは、武辺さんのことに素直に感動し、自分たちの生活を振り返っていた。世界に目を向けてみたいと強い関心をもつことができていた。ビデオも見せて伝えたのが、効果的であった。一時間の中では、時間的に少し無理があった。

## 成果と課題

ガーナの文化や生活の様子について、たくさんの写真や実物、ビデオなどを活用し、学習を進めてきました。自分の経験したことなので、話もしやすく、子どもたちの興味・関心も高かったです。

ガーナに行ってみたい、世界のいろんな国へ行ってみたいという子どもが増えてきました。また、自分たちの生活を振り返り、今自分のできることについて考える子どもも増えてきました。3年生全クラスで授業を行いました。同じ授業をしても反応が違い、授業一時間の流れをよくつかんでおく必要性を感じました。(振り返りの時間を十分に取れないときがあったので)

参観日や学習発表会を利用して、地域の人たちへも少しずつであるが、伝えることができたのはよかったと思います。特に、学習発表会を通して、低学年の子どもたちにも、世界にはガーナのような国があることなどインパクト強く伝えることができたようです。

何時間も授業を行ってきましたが、まだまだ伝え切れていない面をたくさん感じています。今後